

畿央大学大学院

教育学研究科 教育実践学専攻

2014春 開設
入学案内

教育の現代的課題解決の実践力をみがく

教員の人間力
いじめ 教育課程
特別支援教育 ICT活用
学校経営 不登校
カウンセリングマインド



Kio University
Graduate School of Education
Division of Educational Practices



畿央大学大学院教育学研究科長

白石 裕

京都大学博士(教育学)
日本教育行政学会元理事、
関西教育行政学会元会長

京都大学大学院教育学研究科修士課程修了後フルブライト留学生として米国ミネソタ大学大学院で学ぶ。その後京都大学教育学部教授、京都大学大学院教育学研究科教授、早稲田大学教育・総合科学学術院特任教授を経て平成22年度より畿央大学教育学部学部長。日米の教育行政について多くの研究業績で知られている。

「教育実践知」「臨床知」の創出

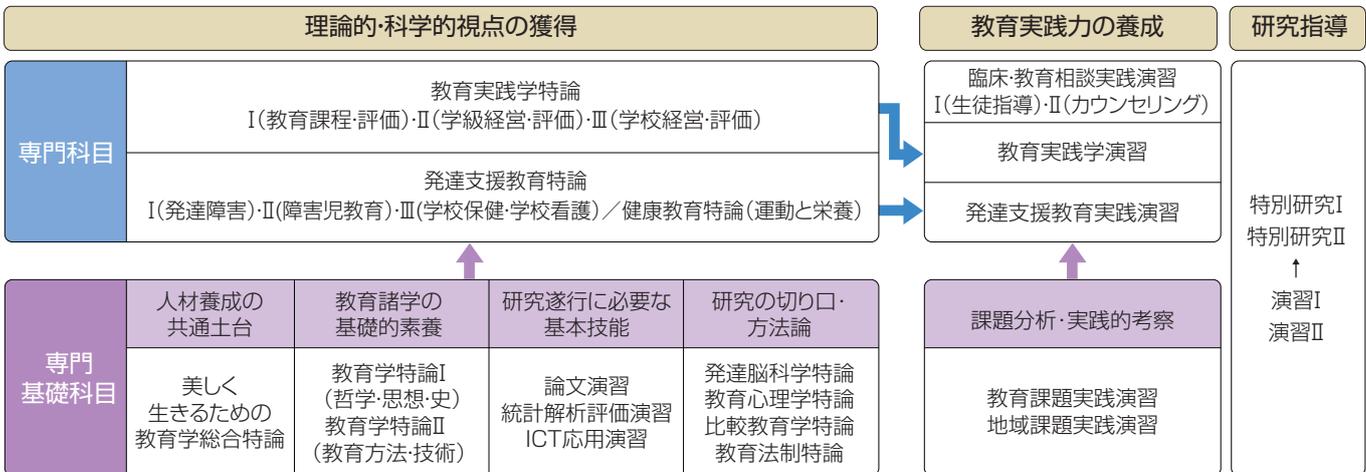
グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化が進行するなかで、わが国の学校教育は、いじめや不登校の問題への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用などのさまざまな教育課題に直面しています。また一方で、平成23年度以降、完全実施された新しい学習指導要領が目的とする「21世紀を生き抜くための力を児童生徒に育成する」という現代の、そして将来に向けての大きな課題への取り組みが求められています。そのような中で教員にも高度な専門的知識や技能、実践的指導力、さらには総合的な人間力が要求されるようになり、そのために大学院レベルでの修学が求められるようになってきました。

こうした社会的要請に応え、畿央大学に教育学部を基礎とする大学院教育学研究科(修士課程)を設置します。入学者は原則として現職教員及び教育学分野の学部卒業生を対象とします。そして本研究科では、教育現場での有用な教育実践を理論的科学的に裏づけられた、より実効性・汎用性のあるものへと高めるために教育実践学専攻を設置し、同分野においてグローバルで高度な研究をめざすことを基本的な方針としつつ、その成果を活用し、第1に、教育実践を思想的、科学的に思索し探究する方法論を現職教員等に習得させ、教育実践の改善に役立て、学び続ける教員を育成します。第2に、地域との連携の下に、現代の教育課題・教育ニーズに応える教育研究を促進し、その成果を地域に還元し、地域の教育の発展と課題解決に貢献する教育研究を行います。

現代の教育課題の解決に真摯に取り組み、教育実践の改善に指導的役割を果たそうという方々の入学をお待ちしています。

理論的・科学的視点に立った教育実践力を養成します

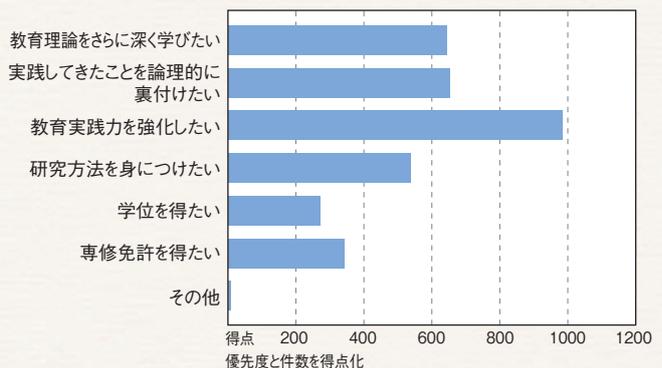
本研究科のカリキュラムは研究活動の土台となる専門基礎科目、「教育実践学」と「発達支援教育」分野の専門科目、そして教育実践力を養成する演習科目、研究指導が有効に組み合わさった内容になっています。理論を実践的に検証して研究論文としてまとめていくと同時に教育実践力そのものを鍛える内容が特色です。



畿央大学教育系大学院(修士課程)へのニーズ調査

2013年2月、近隣の小学校や本学学部卒業生の現職教員約600名に調査を依頼し、212人(内小学校教員が184人)から回答を得ました。「大学院に求めるものは何か」の問いについては、「教育実践力を強化したい」という回答が最もポイントが高く、また「大学院を選ぶ際に重視するもの」という問いでは「教育課程や教育内容」が最も高くなりましたが、教育実践力強化を図る本研究科のカリキュラムはその要望に応えた内容になっています。また現職教員を中心とする社会人の受講を可能にする授業形態としては、長期履修制度、通信教育、夜間授業、遠隔オンデマンド授業、遠隔ライブ授業がほぼ同じ割合で関心を集めました。通信教育以外については本研究科ですべて対応する予定で、入学を可能にする条件はさらに広がっています。

大学院に求めるものは何か？



平日夜間、土曜日の授業で働き続けながら学べる時間割

働きながら学びたいという方の希望に応えるため、授業は平日夜間(18:00～)と土曜日昼間の他、夏季や春季などの長期休暇中に集中授業を行う時間割を設定しています。また、研究施設・設備は休日も含めて23時まで(一部は終日)利用できます。図書館は20時までですが電子ジャーナルの閲覧等は学内のPCからいつでも利用することができます。実際に健康科学研究科の入学者のほぼ全員が仕事をしながら学んでいます。また、長期履修制度を利用して履修年限を最大2年間延長することができます。

◆畿央大学大学院 教育学研究科 修士課程時間割例(1年次前期)

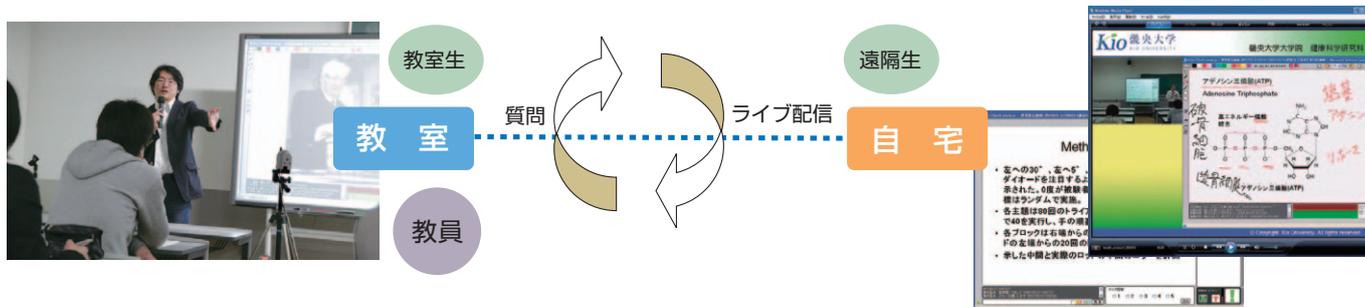
		月	火	水	木	金	土		
Ⅵ限	18:00～ 19:30	発達支援教育 実践演習	教育法制特論	—	教育心理学特論	教育学特論Ⅱ (教育方法・技術)	Ⅰ限	9:00～ 10:30	教育学特論Ⅰ (哲学・思想史)
Ⅶ限	19:40～ 21:10	教育実践学演習	統計解析評価 演習	—	臨床・教育相談 実践演習Ⅱ (カウンセリング)	—	Ⅱ限	10:40～ 12:10	美しく生きるための 教育学総合特論
							Ⅲ限	13:00～ 14:30	教育課題実践演習

はライブ授業を行います。

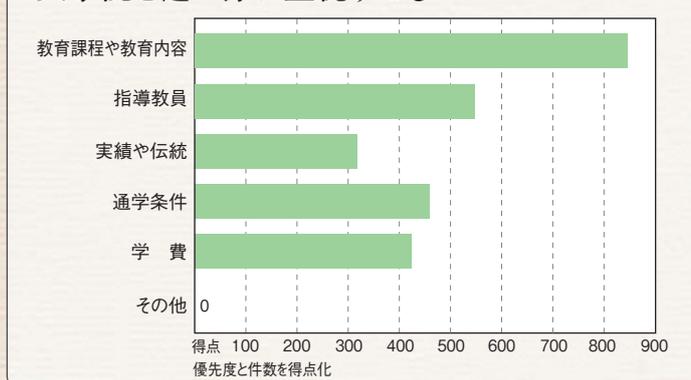
上記の他、演習Ⅰについては、担当教員と打ち合わせの上、日時を決めて実施。

ライブ授業を自宅で受講し、単位取得が可能

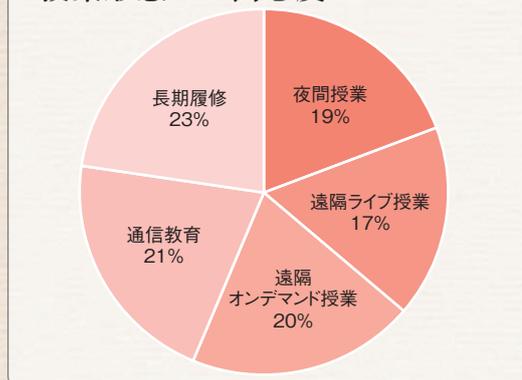
ほとんどの講義はインターネットを利用して実際の講義と同じ時間帯に自宅や職場で受講することができます。先生の声や動作、教材、板書などがリアルタイムに送信されるので教室と同じ条件で受講することが可能です。さらに授業を収録したオンデマンド教材が用意されるのでいつでも復習ができるのももちろん、欠席者も都合がつく時間に学修することができます。また、テレビ会議システムを使って個別指導やグループディスカッション、発表など、遠隔の学生に対してもきめ細かな指導を行い、社会人学生の学びを保証しています。ライブ授業に対応しない「実践演習」や研究指導については担当教員と学生の打合せの上、スケジュールを決定します。



大学院を選ぶ際に重視するもの



授業形態への関心度



教育実践力を高めて、課題解決を図るために…

畿央大学ならではの特色あるカリキュラムをご紹介します

開設科目一覧

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	
			必修	選択	講義	演習
専門基礎科目	美しく生きるための教育学総合特論	1前	2		○	
	教育課題実践演習	1前	2			○
	地域課題実践演習	1後		2		○
	論文演習	1後	2			○
	統計解析評価演習	1前		2		○
	ICT応用演習	1後		2		○
	教育学特論I(哲学・思想・史)	1前	2		○	
	教育学特論II(教育方法・技術)	1前		2	○	
	発達脳科学特論	1後		2	○	
	教育心理学特論	1前		2	○	
	比較教育学特論	1後		2	○	
	教育法制特論	1前		2	○	
	卒業要件 専門基礎科目7科目14単位以上	—	8	16	—	—
専門科目	教育実践学特論I(教育課程・評価)	1後		2	○	
	教育実践学特論II(学級経営・評価)	1後		2	○	
	教育実践学特論III(学校経営・評価)	1後		2	○	
	発達支援教育特論I(発達障害)	1後		2	○	
	発達支援教育特論II(障害児教育)	1後		2	○	
	発達支援教育特論III(学校保健・学校看護)	1後		2	○	
	健康教育特論(運動と栄養)	2後		2	○	
	教育実践学演習	2前		2		○
	発達支援教育実践演習	2前		2		○
	臨床・教育相談実践演習I(生徒指導)	2後		2		○
	臨床・教育相談実践演習II(カウンセリング)	2前		2		○
卒業要件 専門科目4科目8単位以上	—	0	22	—	—	
演習及び特別研究	演習I	1前	2			○
	演習II	1後	2			○
	特別研究I	2前	2			○
	特別研究II	2後	2			○
	卒業要件 演習及び特別研究 4科目8単位以上	—	8	0	—	—
合計(27科目)	—	16	38	—	—	

美しく生きるための教育学総合特論 **必修**

この科目は、本学の建学の精神(「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」と教育学の関わりを追究する必修科目です。教育学、教育内容・方法論、道徳教育、心理学、図画工作科教育法の各専門領域のそれぞれの立場から、教育に携わる者としての理想や目標となる「美しく豊かな生き方」とはどのようなものであるかを考察します。

教育課題実践演習 **必修**

現代の教育課題やニーズについて、自身の学校現場、諸機関による調査、時事ニュース等を手掛かりに、その課題の所在や要因、背景等を多様な視点で受講者自身が分析、考察し、発表します。その後、受講者の司会によって話し合い、実践経験からの意見や理論的側面からの意見、国際的な動きや地域の状況など、多様な視点から議論し、担当教員が総括します。取り上げるのは「教育課程の編成」「学級経営・学校経営」「いじめの問題」「不登校」「発達障害・障害児教育」「学校保健・学校看護・健康教育」に関する課題で、専門科目の教育実践学特論I～Ⅲや発達支援教育特論I～Ⅲの導入ともなる内容です。

地域課題実践演習

本授業の目的は、地域社会と学校教育の関係性について実践的な理解をした上で、地域と有機的に機能し合う教育を実践できる能力を身に付けることです。地元地域の教育課題については教育委員会や指導主事等を招いて、また教育研究機関への訪問調査も予定しています。保護者からの意見はPTA、少年の健全育成から見た課題や福祉からの視点は健全育成関係機関や福祉機関等の協力も得て、具体的な教育課題の実態を把握します。そのうえで課題解決のためのプレゼンテーションと議論・検討を行う、学生主体のアクション・リサーチ型演習授業です。

臨床・教育相談実践演習I(生徒指導) 臨床・教育相談実践演習II(カウンセリング)

臨床・教育相談分野に特化して、さらに深くかつ実践的に学修します。生徒指導・カウンセリングについて実践事例を取り上げながら理論等との関連を踏まえた議論を深め、児童生徒や保護者と信頼関係を築き、問題解決に向けて協働的に試行錯誤できる実践力を身につけます。

■卒業要件及び履修方法

専門基礎科目から14単位以上、専門科目から特論を8単位以上、演習および特別研究8単位を履修し、本研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

教育実践学演習・発達支援教育実践演習の新たな取り組み

教育実践学特論Ⅰ～Ⅲ、発達支援教育特論Ⅰ～Ⅲ、健康教育特論を学んだ上で、自分が解決したいと考える課題に対して学生それぞれが3回チャレンジ。解決策の立案からその評価・分析、さらなる改善策の構築を教員そして同時に受講している仲間たちとも経験交流、意見交換することで新たな可能性が拓けます。①～⑮は授業回数

- ① オリエンテーション(教員→学生)
- ② 実践課題の解決に向けた計画立案(学生⇄教員)
学校・施設等フィールドでの実践 第1回(教員は観察)
- ③ 第1回の実践に対する評価・分析(学生⇄教員)
- ④ 改善策の構築(学生⇄教員)
- ⑤ 実践課題の解決に向けた計画立案(学生⇄教員)
学校・施設等フィールドでの実践 第2回(教員は観察)
- ⑥ 第2回の実践に対する評価・分析(学生⇄教員)
- ⑦ 改善策の構築(学生⇄教員)
- ⑧ 全受講生による事例検討会 評価・分析・改善策の課題整理
- ⑨ 全受講生による事例検討会 改善策についての討論と交流
- ⑩ 実践課題の解決に向けた計画立案(学生⇄教員)
学校・施設等フィールドでの実践 第3回(教員は観察)
- ⑪ 第3回の実践に対する評価・分析(学生⇄教員)
- ⑫ 改善策の構築(学生⇄教員)
- ⑬ 全受講生による事例検討会 評価・分析・改善策の課題整理
- ⑭ 全受講生による事例検討会 改善策についての討論と交流
- ⑮ まとめ

畿央大学教育学研究科が取り組む 現代の教育課題とは？

- その1 いじめや不登校の問題
- その2 特別支援教育の充実
- その3 ICTを活用した教育方法・技術の開発・応用

本研究科では現代の教育諸課題の中でも上記の3つの課題に焦点をあて、それぞれに実践的に取り組むことのできる専門性を持った教員を配置しました。教育課程・学級経営・学校経営、そして障害や健康問題など困難さを抱える子どもについての理論的科学的分析から始まり次のように実践的解決力を身につけます。



健康科学研究科とのコラボ授業

畿央大学大学院では健康科学研究科修士課程を2007年4月に、同博士後期課程を2009年4月に設置しました。これまでに修士号を100名、博士号を10名に授与し、その研究活動の活発さで関連学会からも注目されています。このたび教育学研究科の設置に当たって健康科学の観点から特色ある授業科目を開講します。

発達脳科学特論



森岡 周 教授

「脳を育む」「脳を創る」「脳を守る」こと、このこと自体が教育です。そのためには、それを実践する者は脳の機能を知っておく必要があります。この科目では、これまでの脳科学の成果を基に、人間が持つ運動、知覚、情動、言語、社会性などの機能の発達と脳機能の関係について学び、保育所や幼稚園、学校、あるいは親の育児現場に役立つ知識を提供します。

健康教育特論(運動と栄養)



永澤 健 准教授

この科目では健康教育における科学的根拠(エビデンス)の重要性を理解することで、健康教育に必要な情報を検索・収集・分析する能力を身につけることを目標とします。さらに運動科学と栄養科学を中心として健康教育に対する学修を進めることで、幅広い視点から健康問題を捉えて、児童・生徒における健康課題の実践的解決法の修得をめざします。

研究指導教員からのメッセージ



畿央大学大学院教育学研究科長 教授
白石 裕

京都大学博士(教育学)
日本教育行政学会元理事、関西教育行政学会元会長
京都大学大学院教育学研究科修士課程修了後フル
ブライト留学生として米国ミネソタ大学大学院で学ぶ。その
後京都大学教育学部教授、京都大学大学院教育学研究
科教授、早稲田大学教育・総合科学学術院特任教授
を経て平成22年より畿央大学教育学部学部長。日米の
教育行政について多くの研究業績で知られている。

私の専門は教育行財政学、教育政策論ですが、現在取り組んでいる研究テーマの1つは、アメリカの学校財政制度に関する訴訟事例を素材にして、どの子どもにも平等で質の高い教育を保障するための公正な教育資源の配分の在り方とはどのようなものかを問うものです。もう1つは、アメリカと日本を事例にしながら、教育ガバナンスの在り方、とりわけ地方の教育ガバナンスの在り方について調査研究を交えながら研究を進めています。大学院の授業では、学校や児童生徒、そして教職員に深く関わる教育委員会を中心とした地方の教育ガバナンスの在り方について法制、行財政、経営管理の観点から受講生とともに多角的総合的に考察し、課題解決のための諸方策の構築を目指します。

取り組むテーマ例

- 学校の自立的経営管理を促す教育行政の支援方策と課題
- 教職員の創意工夫と士気を引き出し高める教育環境の構築
- 学校の諸課題を解決・改善するための教育委員会・学校・家庭・地域の連携の在り方



教授
杉峰 英憲

京都大学修士(教育学)、奈良女子大学名誉教授
日本デュイ学会元理事、関西教育学会元理事
京都大学助手、甲南女子大学講師を経て奈良女子大学
専任講師、助教授、教授、大学院博士課程担当。奈良女
子大学文学部附属中学校校長・高等学校校長を併任。平
成15年より17年まで奈良女子大学人間文化研究科博士
後期課程社会生活環境学専攻長。ケンブリッジ大と提携し
て学生達と共に国際的調査研究を行い、「グローバル・クラ
スルーム」や「ラーニング・スクール」の成果をまとめた。

私は、人間のさまざまな能力を発達させることを目的とした学校教育の現実を、能力といわれているものの実体と合わせて、社会全体の意識やスタンスや秩序の問題から解明しようと考えています。そのため、私は、従来の学力調査には収まりきれない能力であるところの「PISAリテラシー」、「キー・コンピテンシー」、「生きる力」、「人間力」、「就業能力」、「社会人基礎力」、「就職基礎能力」といった多様な用語で表される能力を、社会的価値観と学校教育改革の葛藤の歴史として緋いたり、能力の社会的通念に関する質問紙調査を行ったりしています。「学校教育はこれでいいの?」とクエスチョンマークを付けている人たち、一緒に研究してみませんか。

取り組むテーマ例

- 学力概念の歴史的展開
- 学校教育の国際比較研究
- 学校教育への期待度調査



教授
渡邊 健治

博士(教育学)(筑波大学)
東京学芸大学専任講師、助教授、教授を経て平成16年
より20年まで東京学芸大学理事・副学長。その間日本教
育大学協会全国特別支援教育研究部門代表、日本特
殊教育学会で免許問題等検討委員会委員長を務め、特
別支援教育について文部科学省にも提言。現在も障害
児教育実践研究会会長を務めるなど日本における障害
児教育の理論と実践のリーダー役として活躍。

国際的にインクルーシブ教育をどのように進めるかが大きな課題になっています。そのため、日本における小・中学校の発達障害児の個別の支援及び一斉指導における教授技法の検討、スクールクラスター、特別支援学校のセンター的機能の検討などインクルーシブ教育システムの研究を行っています。日本の教育と比較研究するためにロシアを中心に、アメリカ、イギリスのインクルーシブ教育の研究も進めています。知的障害教育における学力問題は論外にされていますが、この研究も新しい研究課題として取り組み始めました。院生と共同で研究を進めていくスタイルを研究手法としています。若く新しい学問と一緒に究めていくこと期待しております。

取り組むテーマ例

- 小・中学校における特別支援教育体制の比較研究
- 地域におけるインクルーシブ教育システム構築に関する研究
- 知的障害教育における学力問題の研究



教授
冬木 正彦

京都大学理学博士、関西大学名誉教授
関西大学工学部専任講師、助教授、教授を経て関西大
学大学院で研究指導を担当。授業と学修を統合的に支
援するソフトウェアCEAS(シーズ)の開発を行い平成16
年度に採択された文部科学省現代的教育ニーズ取組支
援事業の推進責任者を務めた。CEASは関西大学、畿央
大学等で全学的に利用されている。大学全体の教育支
援、専門英語教育の普及促進についても業績を上げてい
る。平成25年より冬木学園副理事長、畿央大学副学長。

授業と学習を統合的に支援するeラーニングシステムや、日本の学習環境に適合したユーザインタフェース、個別学習を支援するアプリケーションなど、情報システム開発に関する実践的研究を行ってきました。これらの経験をもとに、初等中等教育における教育の情報化を対象とし、教材、情報システム、授業方法に関する研究を行います。情報システムが関係する研究では、それが使われる現場での利用者のニーズの把握やふるまいの分析が重要です。最先端の情報通信技術とその応用を検討し、現場で役に立つ研究を一緒に進めたいと思います。新しく、独自性があり、実用的に価値があるものを作り出す喜び、楽しさを実感して欲しいと願っています。

取り組むテーマ例

- 学習用アプリケーションの構造比較と試作
- 「反転授業」の実施方式と科目特性の関連
- 校務支援システムのあり方と有効性の検討



教授
島 恒生

教育学修士(兵庫教育大学)
小学校教諭、奈良県立教育研究所指導主事、教科指導副部長を経て、畿央大学教育学部教授。日本道德教育学会監事、日本道德教育方法学会監事。文部科学省「小学校学習指導要領解説道徳編作成協力者」「小学校道徳読み物資料集作成協力者」を務める。道徳教育、生徒指導、学級経営等についての執筆多数。全国の教育委員会や学校での研修会講師として活躍。

道徳教育や特別活動、学級経営が、私の研究分野です。子どもの心に響く道徳の時間の指導や道徳教材の開発、道徳教育と人権教育の関連、子どもの自主的・実践的な態度を育てる特別活動の指導、子どもたちと創る学級経営の在り方や進め方など、特に、学校現場の具体的な実践を大切にしながら、それらと理論をつなぐ研究をしています。

道徳の時間の中で、子どもの考えや意見をうまく引き出し、よりよい生き方の自覚や意欲を高める教員がいます。教員の指導力や授業力、学級経営力は、経験や感性に基づくところが多くあります。それらを、より多くの教員へと広げ、共有できるようにしたいと考えます。

教育における実践力の向上を支える、意義のある研究を一緒に進めましょう。

取り組むテーマ例

- 道徳教育や道徳の時間の指導の研究
- 道徳実践としての特別活動の意義
- 道徳教育と生徒指導、人権教育等との関連



教授
岡本 啓子

博士(保健看護学)(川崎医療福祉大学)
高等学校養護教諭を経て奈良県立医科大学看護短期大学部助手、奈良県立医科大学医学部看護学科講師を経て、畿央大学教育学部准教授、教授。養護教諭のあり方を軸として学校保健と地域看護との連携を実践的にも追求し、地域障害児サークルにおけるサポート活動にも取り組んでいる。

学校における子どもたちの健康課題が多種・多様に形を示し、その課題解決が難しい状況にあります。私は教育(養護)実践者として、学校内外にかかわらず、その時必要とされる専門的な支援を強く感じています。子どもたちの健康課題へと有効に働くその専門性とは何か、どうしたらその専門性(専門職)につなぐことができるのか、連携・協働・コーディネーションをキーワードに研究を進めています。目の前の子どもたちを捉えるニーズ判断は、実践者自身の子ども観、健康観、教育(養護)観により導き出されるといわれます。皆さん、共に学び、考え、自らのニーズ判断を確かなものとしませんか。そこから教育実践の力を高めていきましょう。

取り組むテーマ例

- 学校保健・学校看護における他職種や地域との連携・協働に関する研究
- 学校保健・学校看護におけるフィジカルアセスメントに関する研究
- 養護教諭のコーディネーション能力育成に関する研究



准教授
西端 律子

博士(人間科学)(大阪大学)
大阪府立工業高等専門学校助手、専任講師、大阪大学人間科学部助手、大阪大学大学院助手を経て畿央大学教育学部准教授、教授。教育システム情報学会評議員、日本情報科教育学会理事、情報コミュニケーション学会理事を兼任。高等学校共通教科「社会と情報」「情報の科学」教科書やメディアリテラシーに関する執筆多数。ソーシャルメディアの問題にも取り組んでいる。

教育の情報化、教科でのICT利用、情報モラル教育などの今日的課題を、学校の実践現場とともに解決しようとしています。技術ありきにならないよう、子どもたちや先生方のニーズ、理論的基盤とともに実践研究を行います。情報に関する知識や技術は、入学時になくても問題ありませんが、他者に自らの研究の背景や仕組みを説明できる程度には、在学中に学んでください。なお、研究室内ではSNSによるオンラインコミュニケーションも多用します。

教育に唯一無二の正解はありません。実際に授業を拝見させていただき、先生方と一緒に授業をつくりあげ、子どもたちの様子を分析しながら、少しでも解決の糸口を見つけ、新しい教育の形を探っていきましょう。

取り組むテーマ例

- タブレット・PC を利用した授業実践の開発と蓄積
- 特別支援教育におけるデジタルコンテンツの開発と共有
- 家庭や地域と連携する情報モラル教育のカリキュラム開発



講師
石川 裕之

博士(教育学)(京都大学)
京都大学高等教育研究開発推進センター特定助教を経て畿央大学教育学部助教、准教授。その間、国立教育政策研究所研究協力委員、国際日本文化研究センター共同研究員などを兼任。平成24年日本比較教育学会平塚賞受賞。韓国をフィールドに、才能教育や高等教育に関する研究、子育て支援制度に関する研究など幅広く取り組んでいる。

専門は比較教育学で韓国の教育全般を研究対象としていますが、中でも才能教育を主たるテーマとしています。韓国も日本と同じく中央集権的で画一性の強い教育制度を有していますが、そうした中で特定分野に飛び抜けた才能を持つ子どもの能力と適性に応じた教育をどのように実現させているのかに興味があります。自ら研究テーマを定め自律的に研究を進めていくのが大学院の醍醐味ですので、私から研究テーマを指定することはありません。また、研究指導についても「あなたの関心のあることについて一緒に考えましょう」というスタンスをとっています。海外の教育事情や国境を越える教育事象に関心のある方、ともに研究に取り組んでみませんか。

取り組むテーマ例

- 東アジア諸国における早期英語教育の現状と課題
- 開発途上国における教育援助の実態とNGOの役割
- 日本における外国人児童・生徒のアイデンティティと学校教育

履修から学位取得まで

必修科目及びそれぞれの問題意識や興味・関心によって選択科目を履修します。2つの履修モデルを下記に示しますが、これ以外の履修ももちろん可能です。また、1年次に配当されている科目を2年次に受講することや、卒業要件以上の単位数を取得することも可能です。

履修モデル

(1) いじめや不登校といった教育課題の解決に関心を持っている学生のケース

年次	学期	専門基礎科目				専門科目		演習及び特別研究	単位数	合計
		必修	単位	選択	単位	単位	単位			
1年次	前期	美しく生きるための教育学総合特論	2	教育法制特論	2			演習I	2	12
		教育課題実践演習	2	教育学特論II(教育方法・技術)	2					
	教育学特論I(哲学・思想史)	2								
後期	論文演習	2	地域課題実践演習	2	教育実践学特論II(学級経営・評価)	2	演習II	2	10	
					教育実践学特論III(学校経営・評価)	2				
2年次	前期			教育心理学特論*	2	教育実践学演習	2	特別研究I	2	8
						臨床教育相談実践演習II(カンゼン)	2			
	後期					臨床教育相談実践演習I(生徒指導)	2	特別研究II	2	
合計			8(8)	8(6)		10(8)		8(8)	34(30)	

注:表中※印の付いた科目は、1年次配当の専門基礎科目を2年次で履修するもの
注:単位の欄の()内の数字は修了要件の単位数

(2) 発達障害を抱える子どものための教育方法に関心を持っている学生のケース

年次	学期	専門基礎科目				専門科目		演習及び特別研究	単位数	合計		
		必修	単位	選択	単位	単位	単位					
1年次	前期	美しく生きるための教育学総合特論	2	教育心理学特論	2			演習I	2	10		
		教育課題実践演習	2									
	教育学特論I(哲学・思想史)	2										
後期	論文演習	2	地域課題実践演習	2	発達支援教育特論I(発達障害)	2	演習II	2	12			
					発達脳科学特論	2	発達支援教育特論II(障害児教育)	2				
2年次	前期					統計解析評価演習*	2	発達支援教育実践演習	2	特別研究I	2	8
								臨床教育相談実践演習II(カンゼン)	2			
	後期							臨床教育相談実践演習I(生徒指導)	2	特別研究II	2	
合計			8(8)		8(6)			10(8)		8(8)	34(30)	

卒業要件

専門基礎科目 7科目14単位以上
 専門科目 4科目8単位以上
 演習及び特別研究 4科目8単位以上
 計 15科目30単位以上

上記に加えて本研究科が行う修士の論文審査及び最終試験に合格することによって次の学位を取得することができます。

学位

修士(教育学) Master of Education 略称 M.Ed.

学位論文完成までのスケジュール

本研究科では出願の際に研究指導を希望する教員を決めていただくことになっています。入学後は2年間にわたってその教員の指導のもとに学位論文を完成させていくことになります。

年次	科目	月	取り組む内容
1年次	前期	演習I	4 専門分野に関する基礎文献講読
			5 研究計画書の執筆
		6 研究テーマの絞り込みおよび具体化	
	後期	演習II	7 研究テーマ(案)の決定
			8 基礎資料・データの収集および基礎調査の実施
			9 研究テーマを確定
2年次	前期	特別研究I	10 研究テーマについての発表・討議
			11 日常的な資料・データの収集・分析および調査
			12 資料・データの収集・分析および調査の実施(長期・1回目)
	後期	特別研究II	1 資料・データの収集・分析および調査の実施(長期・2回目)
			2 学位論文初稿の完成
			3 学位論文の内容についての発表・討議
			4 日常的な資料・データの収集・分析
			5 学位論文の構成・方向性の確定および執筆
			6 資料・データの収集・分析および調査の実施(長期・2回目)
7 学位論文初稿の完成			
後期	特別研究II	8 学位論文中間発表(後期授業第1回)	
		9 学位論文第2稿の完成	
		10 学位論文の完成・論文要旨の提出	
11 学位論文の修正/公聴会の開催および学位論文の審査			
12 学位論文の審査			
1 学位論文の審査			
2 学位論文の審査			
3 学位授与			



入学概要・Q&A

入学までの流れ

事前相談

■事前相談について

出願にあたっては、事前に指導を希望する教員と相談を行ってください。教育学研究科では8名の研究指導教員を予定していますが開設年度ということもあって2014年4月着任の教員もいます。すでに研究指導を希望する教員が在籍している場合(右記一覧表をご覧ください)はその教員にメールや電話でご相談ください。不明な場合、迷われている場合は総合窓口にご遠慮なくご相談下さい。

入学資格審査

※必要のある方のみ

■入学資格審査について

大学を卒業した方と同等以上の学力があるかどうかを本学において認定する審査です。対象となるのは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない方です。内容については右記をご覧ください。

出願

試験

合格発表

入学手続

教員名	メールアドレス	電話番号
総合窓口	nyusi@kio.ac.jp	0745-54-1603
白石 裕	y.shiraishi@kio.ac.jp	
島 恒生	t.shima@kio.ac.jp	
岡本 啓子	k.okamoto@kio.ac.jp	
冬木 正彦	ma.fuyuki@kio.ac.jp	
西端 律子	r.nishibata@kio.ac.jp	
石川 裕之	h.shikawa@kio.ac.jp	

入学資格審査について

出願資格9(9ページ参照)により出願する方は、事前に入学資格審査が必要です。以下の期日までに入学センター宛に申請書類を提出してください。

試験区分	入学資格審査申請期限
1期	2013年11月29日(金)当日必着
2期	2014年1月8日(水)当日必着

申請書類

- ・最終学歴校の成績証明書および卒業(修了)証明書
 - ・社会人選抜希望の方は職場の就労証明書(書式自由)
- 入学資格審査結果は出願日までに本人宛に速達郵便にて通知しますので、審査通過者は本試験出願期間内に願書類を提出してください。

入試Q&A

- Q** 社会人入試の受験資格を教えてください。
- A** 本学の大学院修士課程入学資格に該当し、入学時に福祉、教育研究機関などでの2年以上の実務経験が必要です。詳しくは募集要項(P9)をご覧ください。
- Q** 2014年3月に短期大学を卒業予定です。今年の教員採用試験(小学校)も合格していますが、受験資格はありますか？
- A** 短期大学を卒業した方については、事前に本大学院において行う個別の入学資格審査が必要です。詳しくは上記「入学資格審査について」を参照してください。ただし、2014年4月1日現在で22歳未満の方は、受験資格が得られませんので注意してください。
- Q** 社会人選抜の小論文について教えてください。
- A** 社会人選抜試験の小論文は80分1000字程度で、志望する研究領域に関するテーマが出題されます。概論などでベースとなる知識を身につけ、さらに自分の視点を入れながら論述する練習をしておくといでしょう。
- Q** 面接の形式について教えてください。
- A** 面接試験は受験者1名に対して試験官が2、3名の個人面接形式です。筆記試験終了後、志望動機や目標、研究の目的や方法などについて質問します。

学生生活Q&A

- Q** 研究にも費用がかかると思いますが、すべて自分で負担するのですか？
- A** 本研究科では院生一人当たり年間10万円の院生実習費を利用することができます。院生実習費は研究に関係のある消耗品費、機器備品費、図書・図書資料費、印刷費、通信費、発表を伴う学会参加費、修繕費及び謝金等に使用することができます。
- Q** 遠方から入学したいのですが、畿央大学に行く必要はどれくらいありますか。
- A** 修士課程の1・2年次に配当されている特論・演習科目は、インターネットによるライブ授業対応となっていますので、自宅や職場での受講が可能です。実践演習や研究指導は担当教員と打ち合わせを行い、必要に応じて集中講義等を行うなど、遠方の方でも受講できるよう配慮をしています。ただし定期試験、中間報告会、論文審査の際など重要な節目には大学に来ていただく必要があります。
- Q** 仕事で授業と同時に配信されるライブ授業を受けることができなかったときはどうしたら良いですか？
- A** ライブ授業の内容を記録してオンデマンド教材として配信を行っています。ライブ授業に参加できなかった方は、このオンデマンド教材で学修することができます。

教育学研究科 修士課程 募集要項

■入学定員・募集人員・修業年限

専攻	入学定員	1期	2期	修業年限
教育実践学	10名	7名	3名	2年

■出願資格

【一般選抜試験】

次の1～9のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者及び2014年3月卒業見込みの者
2. 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2014年3月修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者又は2014年3月までに修了見込みの者
6. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
7. 文部科学大臣の指定した者
8. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
9. 2014年4月1日現在満22歳以上の者で、本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

注) 上記9による出願者は、事前に入学資格審査が必要です。(P8「入学資格審査について」参照)

【社会人選抜試験】

一般選抜試験の出願資格1～9のいずれかに該当し、2014年4月1日現在満23歳以上で、入学時において福祉、教育研究機関等で2年以上の実務経験を有する者

※現職の教員、ならびに教員免許を有する者は、これを優先する。

【学内推薦試験】

畿央大学を2014年3月に卒業見込みの者で、卒業研究指導教員の推薦書が得られる者

■入試日程

試験区分	出願期間		試験日	合格発表日
	郵送受付(消印有効)	窓口受付日		
1期	2013年 12月2日(月)～ 12月13日(金)	12月13日(金)・ 12月14日(土)の 9:00～17:00	12月22日(日)	2014年 1月6日(月)
2期	2014年 1月20日(月)～ 1月31日(金)	1月31日(金)・ 2月1日(土)の 9:00～17:00	2月9日(日)	2月15日(土)

■選抜方法

筆記試験、面接および書類審査により入学者を選抜します

選抜種別	試験内容	配点
一般選抜	英語*	100点
	専門科目(研究領域に関する筆記試験)	100点
	面接(個人面接形式)	段階評価
	研究計画書その他の提出書類	参考
社会人選抜	小論文(研究領域に関する内容)	100点
	面接(個人面接形式)	段階評価
	研究計画書その他の提出書類	参考
学内推薦	専門科目(研究領域に関する筆記試験)	100点
	面接(個人面接形式)	段階評価
	研究計画書その他の提出書類	参考

※英語は英和辞書1冊の持込可(電子辞書は不可)

■試験時間割

<一般選抜試験> 集合時間12:50

英語	13:00～14:00(60分)
専門科目	14:20～15:40(80分)
面接	15:50～(1人20分程度)

<社会人選抜試験> 集合時間14:10

小論文	14:20～15:40(80分)
面接	15:50～(1人20分程度)

<学内推薦試験> 集合時間14:10

専門科目	14:20～15:40(80分)
面接	15:50～(1人20分程度)

■出願書類等

1. 入学志願票(本学所定用紙)
2. 成績証明書・卒業(見込)証明書
出願資格を満たす大学等の成績証明書・卒業(見込)証明書。但し「出願資格9」に該当する者は、最終学歴校の成績証明書・卒業(見込)証明書
3. 志望理由書(800字程度、書式自由)
4. 研究計画書(1000字程度、書式自由)または卒業論文(これに準ずる研究報告書・論文等の写し)
5. 卒業研究指導教員の推薦書(学内推薦試験のみ)
6. 業績調書(社会人選抜試験のみ、書式自由。任意提出)

※「出願資格9」に該当する出願者は、事前に資格審査が必要です。(P8「入学資格審査について」参照)

■試験会場

畿央大学(奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2)

■入学検定料

各日程35,000円

■出願手続・方法

出願書類を一括取り揃え、入学検定料を納付の上、本学所定の大学院入試出願用封筒を使用し、必ず簡易書留速達にして郵送してください(締切日消印有効)。なお、指定された窓口受付日の9時～17時に限り、大学窓口への持参が可能です。

■出願上の注意

1. いったん提出された出願書類および納付された入学検定料は、いかなる理由によっても返還しません。
2. 受験票は、出願書類受付後に速達で郵送します。万一、試験実施日の3日前までに届かない場合は、入学センター(0745-54-1603)へお問い合わせください。

■受験上の注意

1. 受験会場の下見は、試験前日の午後(13:00～17:00)に可能ですが、試験室に入ることはできません。
2. 試験当日は集合時間の1時間前から試験室に入ることができます。遅刻は試験開始後30分までは認めますが、30分を超えた場合は受験できません。

■合格発表

1. 合格結果は合格・不合格ともに合格発表日の前日に本人宛に速達郵便で発送します。合格に関する電話等による問い合わせには一切応じられません。
2. 合格者には合格通知書と同時に入学手続関係書類を郵送します。
3. 欠席・途中放棄は「不合格」として判定・通知します。

■入学手続

合格者は、合格通知書に同封する入学手続要項を熟読の上、入学手続を行ってください。入学手続期間内に手続書類の提出および納付金の振込など所定の手続をしなかった場合は、入学の意志がないものとみなし、入学資格を取り消します。

試験区分	試験日	合格発表	第1次入学手続締切日	第2次入学手続締切日
1期	2013年 12月22日(日)	2014年 1月6日(月)	1月17日(金)	1月31日(金)
2期	2014年 2月9日(日)	2月15日(土)	2月28日(金)	3月14日(金)

■入学手続に要する納付金

1. 第1次入学手続(入学申込金の納付)
第1次入学手続締切日までに入学申込金として入学金相当

額(190,000円)を金融機関で振り込んでください。振込依頼書は合格通知書に同封します。

2. 第2次入学手続(入学手続書類の提出および学費の納付)
第2次入学手続締切日までに第2次手続納付金(316,000円)を金融機関で振り込み、入学手続書類を郵送してください。入学手続完了後、すでに納付されている入学申込金は入学金として取り扱います。

第1次手続納付金	第2次手続納付金				入学手続に必要な金額
	入学申込金	授業料	教育充実費	諸会費	
190,000円	250,000円	50,000円	16,000円	316,000円	506,000円

※畿央大学卒業生は修士課程の入学金を免除します。

■2014年度学費等納付金

入学金	授業料	教育充実費	諸会費	初年度納付金
190,000円	500,000円	100,000円	16,000円	806,000円

※1. 入学金、諸会費は入学初年度のみ徴収します。
2. 初年度納付金から入学手続に必要な金額を差し引いた残額は2014年9月に徴収します。

■入学辞退による納入金一部返還制度について

入学手続時納付金を全額納付し入学手続を完了後(第2次手続完了後)、やむをえない理由により入学を辞退する場合、2014年3月30日(日)17:00までに「入学辞退並びに納付金一部返還願」を提出した方に限り、入学申込金を除く入学手続時納付金を返還します。

■大学院特別奨学金制度について

この制度は成績優秀な学生を応援するために設けられています。1回生は入学試験の成績によって、また2回生は前年度の成績によって選ばれ、授業料と施設・設備費の半額(30万円)が給付されます。成績上位10%程度の人数が対象となりますが、同じ人が続いて受給することも可能です。

■長期履修学生制度のご案内

定まった職業を有する方または出産・育児・介護等を行う方を対象として、計画的な長期在学・履修により就学の便宜と授業料の軽減を図る「長期履修学生制度」を設けています。希望される方は入学手続き時に申請が必要となります。また、入学後に長期履修学生制度に変更することも可能です。

■注意事項

- 次のいずれかに該当する場合は合格を取り消します。
1. 虚偽・不正の記載または出願資格を満たさない事実が判明した場合。
 2. 2014年3月大学等を卒業見込みの者が卒業できなかった場合。

■その他

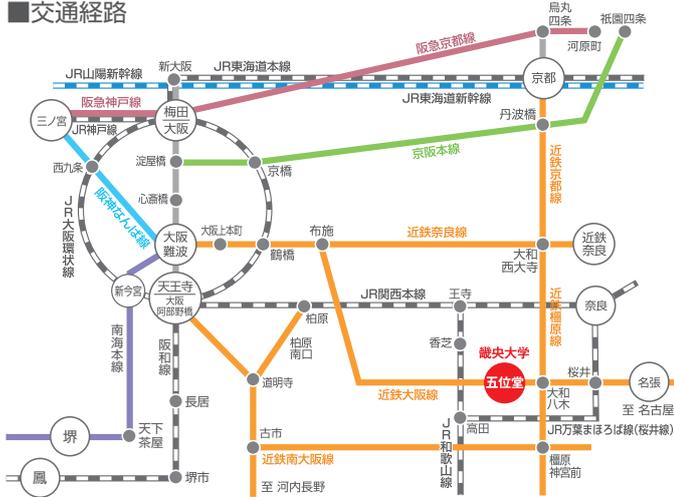
本学は学内外を問わず、全面禁煙を実施しています。

キャンパスへのアクセス

近鉄大阪線「五位堂」駅下車
徒歩約15分(バス約5分)。



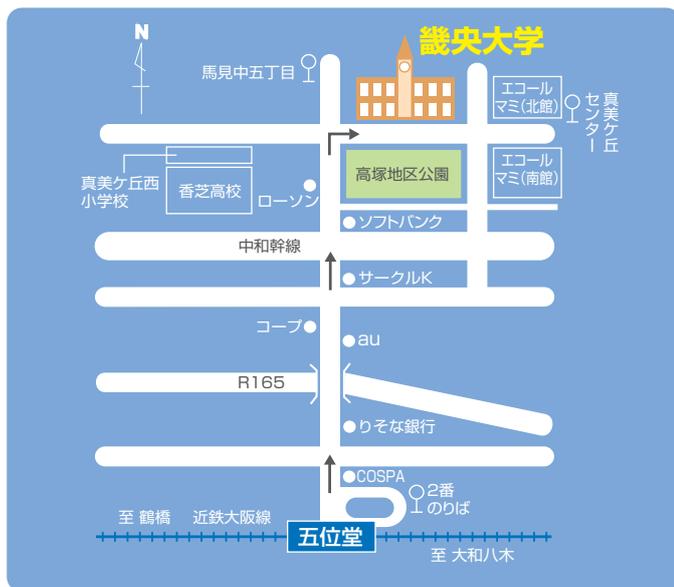
交通経路



主要な駅からのルート・所要時間

JR大阪	JR大阪環状線	近鉄大阪線	約37分	五位堂駅			
近鉄難波	近鉄奈良線	近鉄大阪線	約27分				
JR天王寺	JR大阪環状線	近鉄大阪線	約27分				
JR奈良	JR関西本線	王寺	バス	約45分	畿央大学		
近鉄奈良	近鉄京都線	大和西大寺	近鉄橿原線	大和八木		近鉄大阪線	約32分
京都	近鉄京都線	大和西大寺	近鉄橿原線	大和八木		近鉄大阪線	約67分
JR三ノ宮	JR山陽本線	大阪	JR大阪環状線	鶴橋	近鉄大阪線	約56分	五位堂駅
阪神三宮	阪神本線 (阪神なんば線経由)	鶴橋	近鉄大阪線	約70分			
名張	近鉄大阪線	約39分					
JR和歌山	JR関空・紀州路快速	天王寺	JR大阪環状線	鶴橋	近鉄大阪線	約91分	

近鉄大阪線「五位堂」駅からのアクセス



畿央大学入学センター

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2
TEL 0745-54-1603 FAX 0745-54-1600

<http://www.kio.ac.jp>

